

令和5年度入学 看護学部 編入学（一般・推薦）試験問題の出典

種別	大問 番号	著者名	著作物名	書名等	版元
看護学	2	内閣府	令和3年度高齢社会白書 (全体版)	図 65歳以上の要介護者 等の性別にみた介護が必要 となった主な原因 2021年 一部改変 <a href="https://www8.cao.go.jp/kour&lt;br/&gt;ei/whitepaper/w-2021/zenbu&lt;br/&gt;n/pdf/1s2s_02.pdf">https://www8.cao.go.jp/kour ei/whitepaper/w-2021/zenbu n/pdf/1s2s_02.pdf</a>	内閣府
	5	厚生労働省	令和2年(2020)人口動態統計 月報年計(概数)の概況	2021年 <a href="https://www.mhlw.go.jp/touk&lt;br/&gt;ei/saikin/hw/jinkou/geppo/ne&lt;br/&gt;ngai20/dl/gaikyouR2.pdf">https://www.mhlw.go.jp/touk ei/saikin/hw/jinkou/geppo/ne ngai20/dl/gaikyouR2.pdf</a> よ り、一部改変	厚生労働省

令和5年度 編入学（一般・推薦）

看護学部  
看護学 (120分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、7ページあります。なお、下書き用紙が1枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

# 問題訂正

○訂正内容

教科名 看護学 (一般・推薦)

頁・問題番号・行 P4 5 図の出典の修正

誤)

(内閣府『令和3年度高齢社会白書(全体版)』, 2021年, <[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s\\_02.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s_02.pdf)>より, 一部改変)

正)

(厚生労働省『令和2年(2020)人口動態統計月報年計(概数)の概況』, 2021年, <<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai20/dl/gaikyouR2.pdf>>より, 一部改変)

1 以下の用語について説明しなさい。(21点)

- (1)クリティカルシンキング
- (2)国際生活機能分類 (ICF)
- (3)セカンドオピニオン

2 下の図は、65歳以上の要介護者等の性別にみた介護が必要となった主な原因を示し、A、Bは男性または女性の割合を示している。Aは男性か女性か答えなさい。また、そのように考える理由をグラフから2つ読み取り、説明しなさい。(25点)

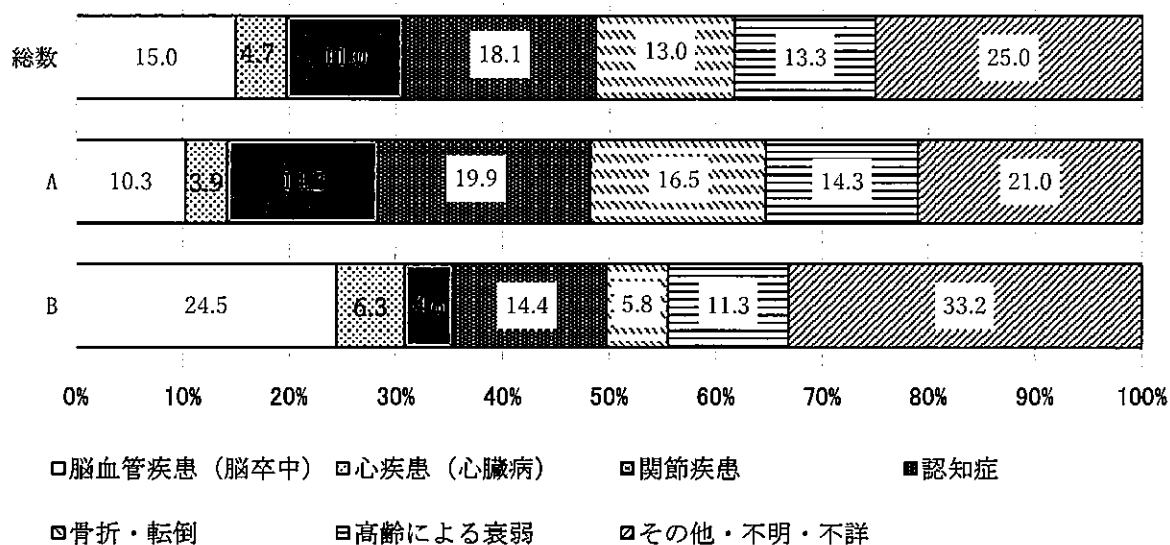


図 65歳以上の要介護者等の性別にみた介護が必要となった主な原因

(内閣府『令和3年度高齢社会白書(全体版)』, 2021年, <[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s\\_02.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s_02.pdf)>より, 一部改変)

3 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(30点)

Aさんは、大学の4年生の22歳女性である。両親と同居している。10歳代から、過食と拒食を繰り返し、体重は1年で10kgの増減があることもあったが、学業や人間関係のストレスによる影響であると考え、Aさんも両親も問題視していなかった。

Aさんは、大学3年生の春休みから、友人との人間関係のトラブルで大学に行かず家に引きこもるようになった。数日間水分摂取のみで過ごしたり、菓子類を大量に短時間に一気に食いをし、自己誘発嘔吐や下剤を多量に服用して体重が増えることに恐怖を感じていた。母親に、「少しダイエットをしたい。」と話し、母親の作った食事を食べなくなっていた。大学4年生になり、拒食が続き、体重減少(身長158cm, 体重39kg, BMI 15.6)や、不眠、母親に反抗的な態度が強くなり、心配した両親が内科を受診させると精神科を紹介され、神経性無食欲症と診断され治療目的で入院となった。

問1 文中の下線部から、現在出現していると予測されるAさんの身体症状とその理由(根拠)を3つ述べなさい。

問2 神経性無食欲症で入院をしたAさんへの対応を具体的に3つ述べなさい。

4 以下の問いに当てはまるものについて正しいものを1つ選びなさい。(24点)

問1 ビーチャム T.L. とチルドレス J.F. による生命倫理の4原則の「正義」はどれか。

1. 約束を守る。
2. 害を回避する。
3. 自己決定を尊重する。
4. 公平な資源の配分を行う。

問2 国際看護師協会 (ICN) による「ICN 看護師の倫理綱領 (2021年版)」における基本的な看護の責任はどれか。

1. 疾病の回復
2. 医師の補助
3. 苦痛の緩和
4. 薬剤の投与

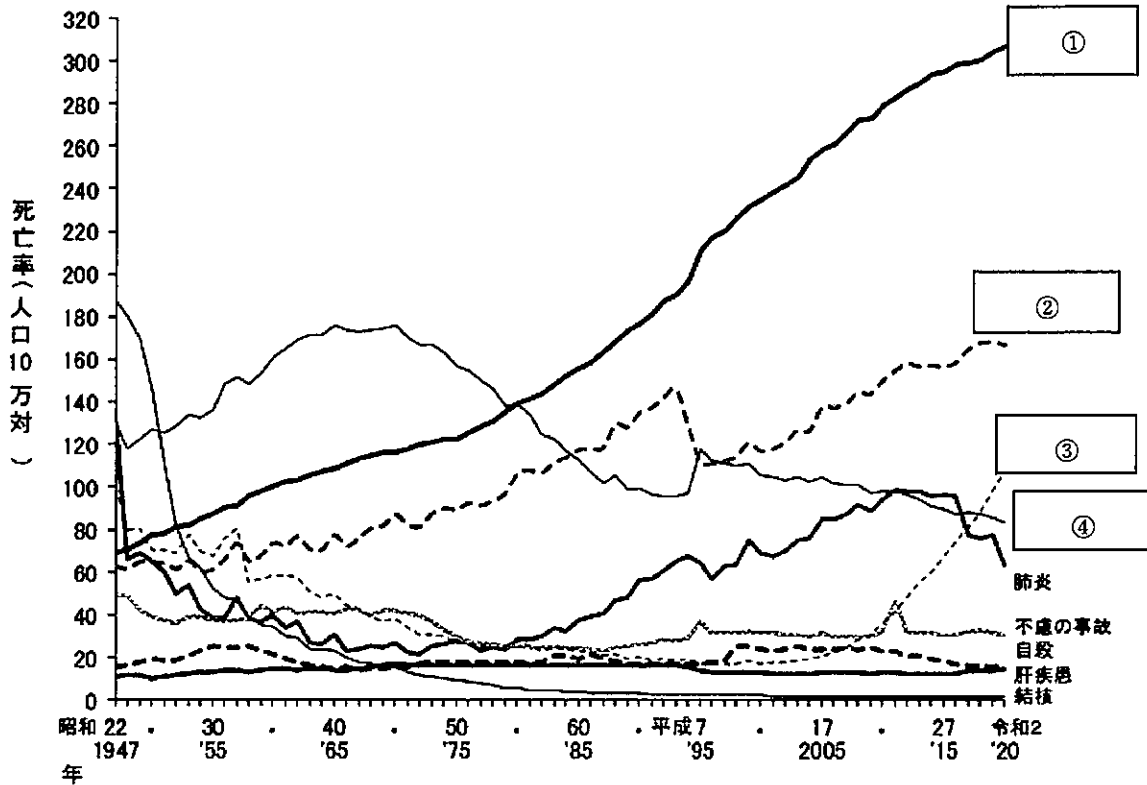
問3 保健師助産師看護師法で規定されている看護師の義務はどれか。

1. 応召義務
2. 記録の保存
3. 秘密の保持
4. 結果発生の予見

問4 災害拠点病院の説明で不適切なのはどれか。

1. 消防隊員のチームを保有する必要がある。
2. 24時間いつでも災害に緊急対応しなければならない。
3. 被災地からの重篤救急患者の受け入れ、広域搬送、医療救護チームの派遣などが求められる。
4. 都道府県知事の要請で消防車の受け入れや医療救護班の派遣を行う。

5 下の図は日本の主な死因別に見た死亡率（人口10万対）の年次推移を示したグラフである。この図を参照し、あとの問いに答えなさい。（20点）



（内閣府『令和3年度高齢社会白書（全体版）』，2021年，<[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s\\_02.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s2s_02.pdf)>より，一部改変）

問1 図の①～④に当てはまる死因を書きなさい。

問2 上がり続けていた肺炎の死亡率が近年減少した理由として考えられることを説明しなさい。

6 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(20点)

Aさんは52歳の女性で、5年前に右乳がんと診断され、乳房部分切除術後に放射線治療とがん化学療法を受けた。その後は、内分泌療法を受けていたが、1か月前から腰部に強い痛みと両下肢に軽度の痺れが生じるようになった。「ズキズキする痛み」があると訴え、外来を受診したところ、腰椎転移と診断され入院となり、腰椎転移の部位に放射線治療(3Gy×10回/30Gy)を行う予定になった。

問1 Aさんに生じている痛みで最も考えられるのはどれか。あてはまる番号を1つ選びなさい。

1. 関連痛
2. 体性痛
3. 内臓痛
4. 中枢痛

問2 放射線治療開始時から3週間以内の時期に、Aさんに必要と考える放射線治療に関連した指導を具体的に3つ述べなさい。

7 次の文章は、介護保険制度について説明したものである。文中の①～⑩に入る適切な語句や数値を記入しなさい。(20点)

介護保険は[ ① ]歳以上のすべての国民が加入し、被保険者になる。自己負担割合は、制度創設時は一律[ ② ]割だが、介護保険法の改正により、一定以上の所得がある第1号被保険者については[ ③ ]割負担、特に所得の高い人は[ ④ ]割負担となっている。

介護保険の被保険者は、[ ⑤ ]歳以上の第1号被保険者と、[ ⑥ ]歳以上[ ⑦ ]歳以下の医療保険加入者である第2号被保険者の2種類に分けられる。

被保険者が介護保険の給付を受けるためには、保険者である[ ⑧ ]から、[ ⑨ ]・[ ⑩ ]の認定を受ける必要がある。



8 母性看護学に関連するあとの問いに答えなさい。(20点)

問1 出生後1分の児。手足を活発に動かし、大きな声で泣いている。体幹はピンク色だが手足にはチアノーゼが見られる。心拍数110回/分。この児のアプガースコアは何点か。

問2 正常分娩した産褥5日目の褥婦で最も順調な経過であると判断できるのはどれか。1つ選びなさい。

1. 赤色の悪露
2. 後陣痛の消失
3. 子宮底の高さが臍下1横指
4. 乳房緊満の消失

問3 母子保健法の中で定められているのはどれか。1つ選びなさい。

1. 出産のための入院費用の負担
2. 生活保護を受けている妊産婦が自宅や指定施設以外で出産する際の費用の負担
3. 入院が必要となる未熟児の入院費用の負担
4. 労働者が子を養育するための休業

9 小児看護学に関連するあとの問いに答えなさい。(20点)

問1 生後8か月の乳児に経口与薬する際の留意点として正しいのはどれか。

1. 離乳食直後に与える。
2. 離乳食に薬を混ぜない。
3. 泣いているときに与えてからあやす。
4. 乳首を用いて吸啜反射を利用して与える。

問2 感染症の罹患によって入院した子どもへの対応で適切なのはどれか。

1. 風疹の児と水痘の児を同室で隔離する。
2. 麻疹を発症した児は陰圧設定された個室に隔離する。
3. ロタウイルス感染児の吐物で汚染された床はアルコールで消毒する。
4. スタンダードプリコーションを実施すると感染予防策は万全である。

問3 乳幼児健康診査の時期と乳児の特徴で最も精密検査の適応となる可能性が高い状態を選びなさい。

1. 1か月の時期に体重が出生時より約2倍になっていない。
2. 6～7か月の時期に首がすわっていない。
3. 9～10か月の時期にハイハイできない。
4. 12か月(1歳)の時期に歩けない。